

# 国道4号線から望むことができる 大きな鐘楼とエキゾチックなかたちのドーム

急な坂道を登っていくと  
そこに現れる  
ビサンチン様式の聖堂



高松の高台に建つ「盛岡ハリストス正教会」。

白い鐘楼とドーム型の屋根が印象的な昭和35年（1960）建設のこの教会は、東方教会の流れを汲んでいます。

5世紀頃に確立された形式と精神性が保たれた、伝統を重んじる宗派、正教会です。

幕末期函館に蝦夷地警備のために派遣された南部藩士たちが、函館の正教会に於いて信仰を得、その後盛岡に戻ったことにより始まりました。

聖堂には日本の女流洋画家の草分けで、国内で唯一人といわれる女流イコン（聖画像）画家・山下りんの聖像が掲げられています。

